

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 社会福祉法人 四ツ葉会 れつつ中庄

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		個別スペースは構造化、遊びは人数によって広さを変えられるよう間仕切り使用する等、適切なスペースは確保できている
	2	職員の配置数は適切である	7		配置基準を守っている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		活動の内容に合わせて構造化している より分かりやすい環境、利用児にも職員にも分かりやすい構造化を目指す
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		必要に応じて職員会議をしている 職員数が多くなく、日勤帯の為小まめに情報共有をしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		評価内容を共有をし、改善できるよう話し合っている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページにて公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		外部講師による研修を実施している 法人内での内部監査を実施している
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		希望した研修に参加できるよう勤務調整をしている コンサルテーションを受けることで支援の質の向上が図れるよう努めている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		初回利用時にアセスメントを実施している。約半年毎にモニタリングを行い、支援内容について会議で共有できるようにしている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		児童で使用しているPEP-3を参考にしながらアセスメントを実施している 全職員が活用できるように努めたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		立案する職員をローテーションで組み、全員で共有している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		集団活動は1ヶ月ごとにプログラムを作成している 個別活動は職員が変わる時は支援内容の共有を行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		その時の様子、情緒に応じて柔軟に対応できるように連携を図っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		発達段階に合わせて計画・支援を行えるよう努めている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝のミーティングを実施して、共有している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		支援終了後引継ぎを実施して、共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		記録からしっかりと検証・改善に繋がるよう職員間で意識の統一を図る
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的実施し、今の本人の姿に合った支援計画となるよう検討している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		実施している

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	7		管理者と担当職員2名で出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		保護者から行事予定を聞く、または学校から行事予定を受け取っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		他事業所から移行の場合、必要に応じて支援内容の文章作成依頼、または担当者会議を実施し、情報共有をしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		他事業所へ移行の場合は必要に応じて支援内容の作成や会議を行っている 放デイが小学2年生まで提供のため、卒業後の進路をたどりにくい現状もある
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5	実施出来ていないため、連携が図れるようにしていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	機会を設けられるよう検討する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5	自立支援協議会の活動等の周知を図っていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時、連絡帳にて情報共有をしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	保護者の方やご家庭の状況に合わせた保護者支援を行えるようスキルアップを図る
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		新規契約時、または児発から移行前に説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		定期的に面談を実施している他、要望があれば適宜個別相談、電話相談に応じるようにしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	茶話会、保護者の座談会など、状況を見ながら実施出来るよう検討したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情受付担当者、責任者(管理者)を配置し、都度適切に対応できるよう努めている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		会報は無いが、ホームページで活動報告を発信している。またアプリにて活動の写真を送るようになっている
	35	個人情報に十分注意している	7		注意している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		利用児、保護者に合わせた伝え方が出来るよう努める
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	今年度は隣接する高齢施設が実施するハロウィンに兄弟児や近隣の小学生などと一緒に参加した。次年度は計画から参加出来るよう努めたい
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		防災委員会でマニュアルを作成し、全職員確認している 保護者へは契約時に説明している 防犯については訓練の実施を検討する	

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年に2回様々な災害を想定して避難訓練を実施 全利用児が参加できるよう計画、実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待委員が中心となって研修会の開催や振り返りを行う機会を作っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	保護者に説明し支援計画に記載している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		契約時に保護者に記入してもらい確認している (現在アレルギーのある児はいない)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		法人部門内全体で共有できるようにしている